

日本気象協会 2017年春の花粉飛散予測(第1報) ～前シーズンの2倍以上は、西日本を中心に17府県も～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川 裕己）は、2016年10月6日（木）に全国・都道府県別の2017年春の花粉（スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ）飛散予測（第1報）を前シーズン比、例年比に分けて発表します。また、詳細な情報を、「2017年春の花粉総飛散数 予測資料」として販売いたします。

本予測は、今年の夏（6～8月）の気象条件などを基に作成しました。今後、花芽調査などのデータを加え、内容を更新していく予定です。

2017年春の花粉飛散予測のポイント		2016.10.6 発表
<p>●前シーズン比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上回る地域：北陸地方、東海地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方 ・下回る地域：北海道、東北地方、関東地方 <p>※前シーズン：2016年</p>	<p>●例年比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上回る地域：近畿地方、四国地方、九州地方 ・例年並みの地域：北陸地方、東海地方、中国地方 ・下回る地域：北海道、東北地方、関東地方 <p>※例年：2007～2016年の平均値</p>	

1. 全国の概況

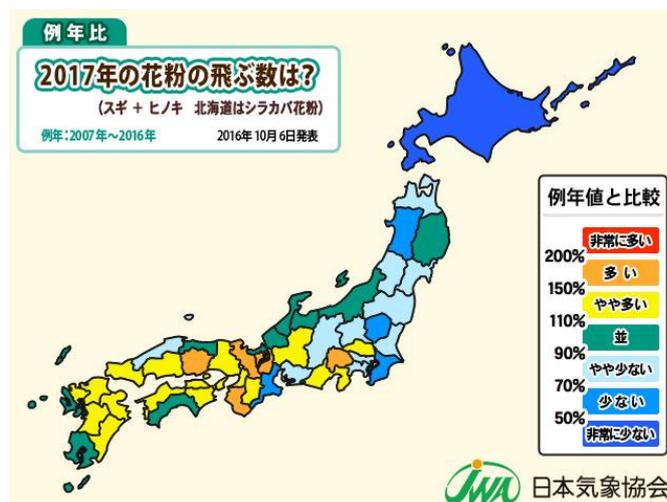
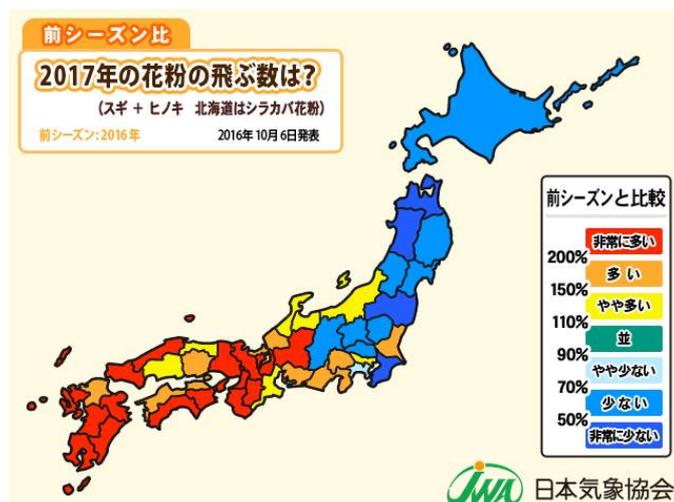
(1) 概要

- 前シーズン比 : 花粉飛散数は、北日本で少なく、西日本では多い地域が多い
 例年比 : 北日本、関東地方を除き、例年並みかやや多い地域が多い

前シーズンは、春のスギおよびヒノキの花粉（北海道はシラカバ）の総飛散数が、東北地方、関東地方で多くなりました。北陸地方より西の地域では少なく、非常に少ない地域もありました。

2017年春の花粉飛散予測は、近畿地方、四国地方と九州地方で、前シーズンの2倍以上の飛散数となる見込みです。また、東海地方、中国地方は多く、北陸地方はやや多く飛散する予測となっています。関東地方はやや少なく、北海道、東北地方では少ない見込みです。

一方、例年比でみると、東北地方と関東地方でやや少なく、北海道では非常に少ないでしょう。そのほかの地域では例年並みか例年を上回るでしょう。





(2) 2016年夏(6~8月)の天候

花粉の飛散数は前年夏の気象条件が大きく影響します。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花芽が多く形成され、翌春の花粉の飛散数が多くなるといわれています。

2016年の夏は、全国的に気温が高く、日照時間も多くなりました。また、北海道では降水量が記録的に多くなりました。

【気温】

7月は、西日本、東日本で気温が高くなり、北日本では平年並みとなりました。8月は、全国的に気温が高くなりました。

【日照時間】

北海道や東北地方、北陸地方、東海地方、九州地方のほとんどのところで多く、特に九州北部では非常に多くなりました。一方、関東地方と中国地方では平年並みとなりました。

【降水量】

北海道では、7月から8月にかけて、前線や低気圧、台風の接近や上陸などの影響を大きく受け、夏の降水量が1946年の統計開始以来1位となったところもありました。

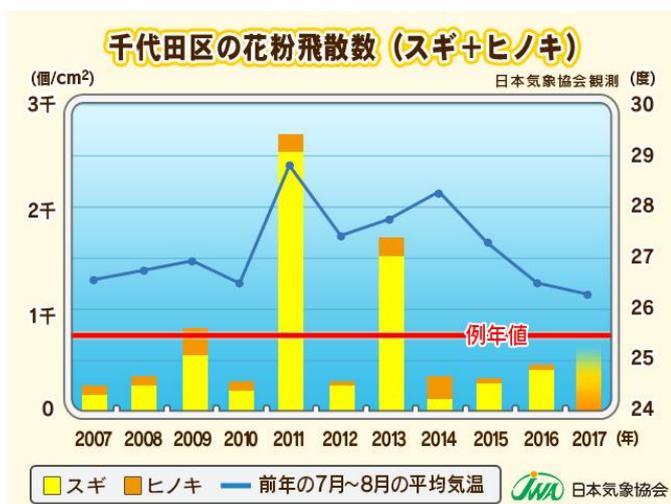
北陸地方、東海地方、近畿地方では平年並み、そのほかの地域では平年並みか多くなりました。

(3) 2017年春の花粉飛散予測

2017年は前シーズンと比べると、北日本で少なく、西日本で花粉が多く飛散するでしょう。特に、近畿地方、四国地方、九州地方では非常に多く飛散する見込みです。

例年と比べると、近畿地方、四国地方、九州地方では高温・多照などの花芽が多く形成される気象条件が揃うため、花粉の飛散数は例年を上回る予測となっています。また、北陸地方、東海地方、中国地方では、例年並みの飛散数となる見込みです。一方、東北地方と関東地方では、飛散数は例年より少なく、北海道では非常に少ないでしょう。

花粉飛散数は、2014年までは、前年に比べて「多い」と「少ない」を繰り返していましたが、東京では2015年、2016年と2年続けて多くなり、一方大阪では2015年、2016年と2年続けて少なくなりました。また、花粉飛散数をスギとヒノキを分けてみると、西日本ではヒノキの飛散数の割合が東日本に比べて多く、特に近畿地方は、ヒノキの割合が50%を上回る年もありました。日本気象協会は、今後の推移に注目していきます。



花粉飛散数の推移 (左: 東京千代田区、右: 大阪市 日本気象協会の観測による)



2. 地方の概況

地方	花粉種別	飛散数		2016年夏の気象
		前シーズン比 (地方平均値)	例年比 (地方平均値)	
北海道	シラカバ	少ない (50%)	非常に少ない (30%)	気温 : 高い 日照時間 : 多い 降水量 : かなり多い
東北	スギ ヒノキ	少ない (50%)	やや少ない (80%)	気温 : 高い 日照時間 : 平年並 降水量 : 多い
関東 甲信	スギ ヒノキ	やや少ない (70%)	やや少ない (80%)	気温 : 高い 日照時間 : 平年並 降水量 : 多い
北陸	スギ ヒノキ	やや多い (140%)	例年並 (90%)	気温 : 高い 日照時間 : 多い 降水量 : 平年並
東海	スギ ヒノキ	多い (160%)	例年並 (90%)	気温 : 高い 日照時間 : 多い 降水量 : 平年並
近畿	スギ ヒノキ	非常に多い (360%)	やや多い (130%)	気温 : 高い 日照時間 : 多い 降水量 : 平年並
中国	スギ ヒノキ	多い (170%)	例年並 (100%)	気温 : 高い 日照時間 : 平年並 降水量 : 平年並
四国	スギ ヒノキ	非常に多い (260%)	やや多い (110%)	気温 : 高い 日照時間 : 多い 降水量 : 多い
九州	スギ ヒノキ	非常に多い (270%)	やや多い (110%)	気温 : かなり高い 日照時間 : 多い 降水量 : 多い

【飛散数に関する言葉の説明】

非常に多い : 前シーズン (例年) の 200% 以上
 多い : 前シーズン (例年) の 150% 以上 200% 未満
 やや多い : 前シーズン (例年) の 110% 以上 150% 未満
 前シーズン (例年) 並 : 前シーズン (例年) の 90% 以上 110% 未満
 やや少ない : 前シーズン (例年) の 70% 以上 90% 未満
 少ない : 前シーズン (例年) の 50% 以上 70% 未満
 非常に少ない : 前シーズン (例年) の 50% 未満

前シーズン : 2016 年シーズン飛散数
 例年 : 過去 10 年 (2007～2016 年) の平均値

【2016 年夏の気象に関する言葉の説明】

平年 : 1981～2010 年の平均値